

1

平成28年度

第11回 ファミリーホーム全国研究大会

関東甲信越ブロック in 横浜

考えてみよう、ファミリーホームの原点
～こどもの未来を広げる もう一つの家族～



《大会要項》

大会概要

【開催日】 2016年（平成28年）8月5日（金） ～ 8月6日（土）

【会場】 横浜市健康福祉総合センター内 横浜市社会福祉センター

大会趣旨

日本ファミリーホーム協議会の歩みを振り返ると平成17年8月に東京で設立総会后、第3回までの全国研究協議会は横浜で開催されてきました。それはファミリーホームの前身である里親型ファミリーグループホーム制度を全国に先駆けて創設したのが横浜市だからです。まさにファミリーホーム発祥の地で第11回全国研究大会を開催できることを光栄に思います。

さて、ファミリーホーム制度化から6年が経過し、全国での開設数は250を超えました。

「子どもにとっての最善の養育の場とは何か」という原点に戻るためのものにしたいたいと思いかから第一日目には公開討論会を開き、第二日目の各分科会では様々なファミリーホームができている現状を踏まえ、自治体間の格差、国の制度の充実と見直しについてもとことん話し合っていきます。

また、今大会では一般プログラムと並行しユースプログラム（15歳～29歳、ホームで現生活している子ども及び社会に出ている子ども）を企画して、ファミリーホームで生活している子どもたちはどう考え、どんなアフターケアを必要としているのか、一緒に生活している実子はどう思っているのか？子どもたちの視点からも「未来を広げるもう一つの家族とは何か」を話し合っていきたいと思えます。キッズプログラムも充実させファミリーホームで育つ子どもたち同士の楽しい交流も企画しています。

大会スケジュール

8月5日(金)～8月6日(土)

8月5日(金) <1日目>

11:30	12:45	13:30	14:15	16:30	18:30	20:30
受付	開会式	事業調査委員会 より報告	公開討論会	移動・準備 (18:00より乗船可能)	懇親会 (クルージング)	

8月6日(土) <2日目>

9:00	9:30	15:00	15:30	16:30
受付	分科会 (昼食をはさみながら)	休憩・移動	FH紹介(体験発表)	報告会・閉会式

- ・ 1日目(8/5)は**12時30分まで**に、4階にある受付を済ませてから大ホールにご着席ください。また宿泊される方で同封されている沖縄ツーリストにてホテルを予約されている方のみ、4階にて荷物をお預かりし、宿泊先のホテルまでお届けいたします。その際、貴重品等はお手元にお持ちになってご着席ください。
- ・ 1日目(8/5)は9時より飲食スペース(9F)を開放いたします。また10Fのレストランも営業しておりますので、お気軽にご利用ください。
- ・ 2日目(8/6)は会場の横浜市健康福祉総合センターには、9時前入館はできません。

公開討論会

8月5日(金) 14:15～16:30

テーマ	ファミリーホームの「過去、現在、未来」について	
討論者	柏女 霊峰 (淑徳大学教授)	細野 博嗣 (横浜市子ども福祉保健部長)
	山本 節子 (ホームばあばぱ・東京都)	藤井 康弘 (厚生労働省障害保健福祉部長)
概要	国の制度化に尽力した関係者の想いを皆で共有しつつ、この6年で顕在化してきた課題を本音で語り合い、制度の見直しと改善につなげる議論としたい。	

第1分科会	テーマ	「ファミリーホームの地域支援」
	講師	渡邊 忍 (日本福祉大学)
	概要	ゼミで「ファミリーホームの地域支援」について1年間取り組んできて、学生の視点からの「ファミリーホームの現状や課題」と教員の視点からの「ファミリーホームの地域支援のあり方」といった2つの報告を交え、議論を深めていく。
第2分科会	テーマ	「思春期の児童への関わり方」
	講師	小木曾 宏 (房総双葉学園施設長、児童家庭支援センター長)
	発表者	細田真理 (細田ホーム・埼玉県)、畠山由美 (虹の家・栃木県) 宇津孝子 (うずまきファミリー・長野県)
	概要	施設ではなく、ファミリーホームだからこそできる思春期児童への自立支援について共通理解を図る。そして思春期児童の自立支援で困っていること、うまくいった成功例などをシェアし、より有効な思春期児童の養育を学びましょう。
第3分科会	テーマ	「性に関する諸問題」
	講師	高橋 亜美 (アフターケア相談「ゆずりは」所長) 白井 めぐみ (横浜市児童相談所の保健師 虐待対応・地域連携)
	概要	社会的養護下にいた子ども(特に女の子たち)が社会に出た後、どのような問題・課題で苦労しているのか、「ゆずりは」の支援を通しながらお話をさせていただく。また養育者が必要以上に不安に陥らないために、子どもの性に関する定型発達を語っていただく。
第4分科会	テーマ	「ファミリーホームと関係機関との連携 埼玉県の在り方」
	講師	大山副課長 (埼玉県こども安全課)、里親委託推進担当 (埼玉県児相) 根岸 清(根岸の家)
	概要	認可機関(こども安全課)から認定申請の受付から認可までの経緯、認可後の関わり方、監査・指導など。児童相談所からファミリーホームに児童を措置するまでの流れ、児童措置後のファミリーホームとの関わりを各機関の方々に説明していただく。
第5分科会	テーマ	「ファミリーホームが生き残っていくためには」
	講師	広瀬 タカ子 (ひろせホーム)
	概要	子どもが円滑に措置され、ファミリーホームが生き残っていくためにできることを話し合っていこう(ホーム体制の作り方、措置後の対応、古い人達の支援)
特別1分科会	テーマ	「養育者の質の向上～処遇困難児の対応」
	講師	中垣 真通 (子どもの虹情報研修センター)
	概要	衝動的な粗暴行為が多く、周囲をいらだたせてしまうことの多い”キレル子”について、愛着とトラウマの視点から生い立ちを理解し、力に頼らない対応の基本方針を学びます。
特別2分科会	テーマ	「ファミリーホーム・里親家庭で暮らす実子の語りと想い」
	講師	山本 真知子 (大妻女子大学)
	概要	ファミリーホーム(もしくは里親家庭)で生活している、または過去に生活していたファミリーホーム養育者(里親)の実子の分科会です。「心と体を動かそう」をテーマに15歳以上のユースの実子も交えて、日本で初めて実子分科会を行います。補助者の実子も参加可能です!体を動かせる格好で参加お願い致します。

主催、後援 等

【主催】 日本ファミリーホーム協議会

【後援】 厚生労働省 / 横浜市 / 神奈川県 / 相模原市 / 横須賀市

全国社会福祉協議会 / 全国児童養護施設協議会 / 全国乳児福祉協議会

全国里親会 / 全国児童家庭支援センター協議会 / 全国自立援助ホーム協議会

神奈川県社会福祉協議会 / 横浜市社会福祉協議会 / 横浜市港南区社会福祉協議会

こどもみらい横浜 / 児童虐待防止全国ネットワーク / 神奈川新聞社

朝日新聞厚生文化事業団

【運営/企画】 関東甲信越ブロック 横浜大会実行委員会

※法人格につきまして、スペースの関係上、省かせていただきました。予めご了承ください。

お問い合わせ

【横浜大会実行委員長】 山本 節子 (ホームばあばば/東京都)
TEL : 042-729-6441 FAX : 042-729-7879
E-MAIL : info@ohana-group.com

【横浜大会事務局長】 齋藤 新二 (齋藤ホーム/横浜市)
【キッズプログラム】 齋藤 眞理子 (齋藤ホーム/横浜市)
TEL : 045-824-0104 FAX : 045-824-0104
E-MAIL : saitohhome@outlook.jp

【ユースプログラム】 大場 理史 (トロンの木影/横浜市)
TEL : 090-1477-9165 FAX : 045-459-9356
E-MAIL : masa0709@tronc-fh.yokohama

【ユース 実子担当】 山本 真知子 (大妻女子大学人間関係学部)
E-MAIL : m-yamamoto@otsuma.ac.jp